

2021年度 行岡保健衛生学園 大阪行岡医療専門学校長柄校 学校評価

○実施学科

臨床検査科
放射線科
鍼灸科

○実施時期

自己点検自己評価：2022年4月・5月

学校関係者評価：2022年5月・6月

○学校評価の方針

自己評価結果の公表方法

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)

各学科「学校法人行岡保健衛生学園自己評価表」に基づいて、自己評価を実施している。評価項目については、「専修学校における学校評価ガイドライン（文部科学省生涯学習政策局：平成25年3月）」を参照して定めている。

なお、自己評価表については、学校法人行岡保健衛生学園「情報公開」で公表している。

学校関係者評価の基本方針（実施方法・体制）

各学科、「学校法人行岡保健衛生学園自己評価表」に基づいて、自己点検自己評価を実施している。評価項目については、「教育理念・目標」、「学校運営」、「教育活動」、「学習成果」、「学生支援」、「教育環境」、「学生の受け入れ状況」、「法令等の遵守」、「社会貢献・地域貢献」、「法人運営・財務」の10項目である。

また、評価委員会については、各学科の専門分野における業界関係者（就職先・実習先施設、業界団体、職能団体職員）、学校運営に関する専門家（学校マネジメント）、卒業生より人選している。

学校関係者評価の委員

所属	任期	種別
看護専門学校教学部長	平成31年4月1日～ 令和4年3月31日 (任期更新)	学校運営に関する専門家 (マネジメント)

短期大学教授	平成 31 年 4 月 1 日～ 令和 4 年 3 月 31 日 (任期更新)	教育関連
歯科医院	平成 31 年 4 月 1 日～ 令和 4 年 3 月 31 日 (任期更新)	業界関係者（産業界、卒業生）
歯科医院	平成 31 年 4 月 1 日～ 令和 4 年 3 月 31 日 (任期更新)	業界関係者（産業界、卒業生）
医療機関	平成 31 年 4 月 1 日～ 令和 4 年 3 月 31 日 (任期更新)	業界関係者（産業界、就職先、実習先）
医療機関	平成 31 年 4 月 1 日～ 令和 4 年 3 月 31 日 (任期更新)	業界関係者（産業界、卒業生）
医療機関	平成 31 年 4 月 1 日～ 令和 4 年 3 月 31 日 (任期更新)	業界関係者（産業界、就職先）
整骨院院長、同窓会役員	平成 31 年 4 月 1 日～ 令和 4 年 3 月 31 日 (任期更新)	業界関係者（産業界、卒業生）
整骨院院長、職能団体役員	平成 31 年 4 月 1 日～ 令和 4 年 3 月 31 日 (任期更新)	業界関係者（産業界、職能団体）
会社役員、同窓会役員	平成 31 年 4 月 1 日～ 令和 4 年 3 月 31 日 (任期更新)	業界関係者（産業界、卒業生）
整骨院代表、同窓会役員	平成 31 年 4 月 1 日～ 令和 4 年 3 月 31 日 (任期更新)	業界関係者（産業界、卒業生）
学校関係者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 学校法人行岡保健衛生学園「情報公開」で公表している。 行岡医学技術専門学校ホームページ「情報公開」 http://www.yukioka.ac.jp/disclosure/		

2021年度 行岡保健衛生学園 自己点検・評価表

学校名：大阪行岡医療専門学校長柄校

学科名：臨床検査科

記入者：堀田 博恵

1. 学校の教育目標

2. 学科の教育目標

- (1) 臨床で必要とされる医療知識、医療技術を修得し、さらにコミュニケーションをとり他職種との連携、共同をはかることができる医療技術者を育成する。
- (2) 医療従事者として求められるマナーの修得をする。
- (3) より実践的な医療知識、医療技術の修得を目指し、講義及び実習を充実させる。
- (4) 学生に還元するため、教職員のスキルアップの向上を目指す。

3. 評価項目の達成及び取組状況

(1) 教育理念・目標

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや適切…2、不適切…1
・学校の理念・目的・人材育成像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	④ 3 2 1
・学校における職業教育の特色は何か	④ 3 2 1
・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4 ③ 2 1
・学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	4 ③ 2 1
・各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4 ③ 2 1

①課題

基本的な知識・技術を習得させるとともに、時代のニーズに対応できる質の高い医療人としての人材育成を考慮し、最終的には国家試験に繋がるよう努力したい。

②今後の改善方策

カリキュラムの見直し

③根拠資料

④特記事項

(2) 学校運営

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや適切…2、不適切…1
・目的等に沿った運営方針が策定されているか	4 ③ 2 1
・運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4 ③ 2 1
・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4 ③ 2 1
・人事、給与に関する規程等は整備されているか	4 3 ② 1
・教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4 3 ② 1
・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4 3 ② 1
・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4 ③ 2 1
・情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4 3 ② 1

①課題

学園全体のシステム化、特に情報共有での業務効率化を目指したい。

②今後の改善方策

教育管理システムの導入

③根拠資料

④特記事項

(3) 教育活動

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや適切…2、不適切…1
・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方法等が策定されているか	4 ③ 2 1
・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえ、就業年限に対応した教育到達レベルが明確にされているか	4 ③ 2 1
・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	④ 3 2 1
・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	④ 3 2 1
・関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	④ 3 2 1
・関連分野における実践的な職業教育（インターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	4 ③ 2 1
・授業評価の実施・評価体制はあるか	4 ③ 2 1
・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4 ③ 2 1
・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	④ 3 2 1
・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	④ 3 2 1
・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4 ③ 2 1
・関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務を含む）を確保するなどマネージメントが行われているか	4 3 ② 1
・関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4 3 ② 1
・職員の能力開発のための研修等が行われているか	4 3 ② 1

①課題

教員の資質向上を図る目的での学外研修、または学外講師の招いての学内研修はあまり実施されていない。

授業評価は実施しているが、評価体制は整っていない。

②今後の改善方策

より一層のスキルアップの向上を図るため、教職員の外部研修の受講を奨励していく。
外部研修会で得られる知見を本学の教育に活かしていく。

③根拠資料

④特記事項

(4) 学修成果

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや適切…2、不適切…1
・就職率の向上が図られているか	④ 3 2 1
・資格取得率の向上が図られているか	④ 3 2 1
・退学率の低減が図られているか	4 ③ 2 1
・卒業生・在校生の社会的な活躍及び計画を把握しているか	4 ③ 2 1
・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4 ③ 2 1

①課題

国家試験の内容が広範囲で修業年限で修得するのが難しくなってきており、その内容についていけない学生が増加傾向にある。

卒業生との交流は希薄になっており卒業生全体の連携は難しく、卒後の動向の把握ができていない。

②今後の改善方策

入学前教育の導入。

③根拠資料

④特記事項

(5) 学生支援

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや適切…2、不適切…1
・進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4 ③ 2 1
・学生相談に関する体制は整備されているか	④ 3 2 1
・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4 ③ 2 1
・学生の健康管理を担う組織体制は整備されているか	4 ③ 2 1
・課外活動に対する支援体制は整備されているか	4 ③ 2 1
・学生の生活環境への支援は行われているか	4 ③ 2 1
・保護者と適切に連携しているか	4 ③ 2 1
・卒業生への支援体制はあるか	4 ③ 2 1
・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4 ③ 2 1
・高校・高等専修学校との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4 3 ② 1

①課題

就職の支援体制は、ほぼ整っているが、学校と相談せずに独自で動く学生もいるため、トラブルがないように詳細に決める必要がある。

卒業生は学校を通さずに転職すればその後の調査は困難になっている。

②今後の改善方策

最終学年において社会規範としての就職ガイダンスを徹底する。

卒業生の動向についてはできる限り調査していきたい。

③根拠資料

就職説明会資料

④特記事項

保護者の就職に関する質問や問合せ等は少なく、全体的に希薄であるが、関心が強い保護者に対しては密に連携している。

(6) 教育環境

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや適切…2、不適切…1
・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか	4 3 ② 1
・学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4 3 ② 1
・防災に対する体制は整備されているか	4 ③ 2 1

①課題

設備面での老朽化が著しいため教育上対応し難いこともある。

インターンシップは新型コロナウイルス感染症が流行してから実施していない。

②今後の改善方策

設備については高額なものが多いため、一度には難しいが少しづつ買い替えを予定している。

③根拠資料

④特記事項

年1回の防災訓練は実施している。

(7) 学生の受け入れ状況

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや適切…2、不適切…1
・学生募集活動は、適正に行われているか	④ 3 2 1
・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	④ 3 2 1
・学納金は妥当なものとなっているか	4 ③ 2 1

①課題

募集活動は適正に行っているが、少子化の影響を受けている。

広報に特化した人材を確保してほしい。

広報においてオープンキャンパスなどの実施日や内容をいかに広く志願者に認識してもらうか、また、来校者が受験につながるよう努力したい。

②今後の改善方策

募集内容や方法・手段などを時代の流れに合わせて見直していく。

限られた職員での学生募集活動の効率化、効果の最大化を目指したい。

③根拠資料

学校パンフレット、募集要項

④特記事項

専任教員が年度初めに高校訪問等の学生募集活動を行っている。

(8) 財務

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや適切…2、不適切…1
・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4 3 2 1
・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4 3 2 1
・財務について会計監査が適正に行われているか	4 3 2 1
・財務情報公開の体制整備はできているか	4 3 2 1

①課題

②今後の改善方策

③根拠資料

④特記事項

(9) 法令等の遵守

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや適切…2、不適切…1
・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	④ 3 2 1
・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	④ 3 2 1
・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4 3 ② 1
・自己評価結果を公開しているか	4 3 ② 1

①課題

自己評価については充分に実施できていない。

②今後の改善方策

学生からのアンケートを参考に自己評価を行い、問題点を改善していくよう努力する。

③根拠資料

④特記事項

指定規則に従い、遵守と適正な運営を実施している。

(10) 社会貢献・地域貢献

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや適切…2、不適切…1
・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4 3 ② 1
・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	④ 3 2 1
・地域に対する公開講座・教育訓練の受託等を積極的に実施しているか	4 ③ 2 1

①課題

大人数での講習会やセミナーを行う場所がなく実施が難しい。

②今後の改善方策

学外での活動にできるかぎり積極的に参加している。

③根拠資料

④特記事項

2021 年度 学校法人行岡保健衛生学園
学校関係者評価表

学校名：大阪行岡医療専門学校長柄校

学科名：臨床検査科

評価者：①卒業生、臨地実習先
②卒業生、非常勤講師、臨地実習先

【講評】

- ・全体的に学校運営に関しては適正に運営、実施されている。
- ・伝統と実績があり、まじめな学生が多く好評であるが、少子化という時代に生き残るためにには学園の強みや魅力となるポイントを戦略的にアピールしていくことが必要ではないか。
- ・評価の低い項目に関しては今後の改善活動を見守りたい。

【課題・今後の対策】

- ・施設の老朽化についてはすぐに改善することは難しいが、医療は日々進歩しているため、医療技術に対応する設備などを少しずつ整える必要があると思われる。
- ・学生の学力が少しずつ低下しており、国家試験の合格率を維持していくには今までとは同じ対策では難しいと思われる。具体的な改善策を立てる必要がある。

2021年度 行岡保健衛生学園 自己点検・評価表

学校名：大阪行岡医療専門学校長柄校

学科名：放射線科

記入者：福澤 宏省

1. 学校の教育目標

教育基本法、学校教育法に定める専修学校にして、医療専門課程を置き、放射線学、臨床検査学、はり、きゅう、あん摩マッサージ指圧術、に関する理論と実地技能を教え、兼ねてその品性を陶冶し、有為な診療放射線技師、臨床検査技師、はり師・きゅう師・あん摩マッサージ指圧師、柔道整復師を養成して、人類の福祉に寄与することを目標とする。

2. 学科の教育目標

最新の技術と知識と、そして心をモットーに理工学の基礎を養い、高度な技術や最先端の医療に対応すべく知識そして医療人としての自覚とやさしさを備えた診療放射線技師の養成を目標とする。

3. 評価項目の達成及び取組状況

(1) 教育理念・目標

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや適切…2、不適切…1
・学校の理念・目的・人材育成像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	④ 3 2 1
・学校における職業教育の特色は何か	④ 3 2 1
・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4 ③ 2 1
・学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	4 ③ 2 1
・各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4 ③ 2 1

①課題

理念や目的を考慮し、日々進化する装置に対応できるようにし、国家試験の合格率を向上させる。

②今後の改善方策

最新の装置・技術に対応できるように専門性の高い医療スタッフを集めるとともに、学生的数学力や思考力を高める。

③根拠資料

④特記事項

(2) 学校運営

評価項目	適切… 4、ほぼ適切… 3、やや適切… 2、不適切… 1
・目的等に沿った運営方針が策定されているか	4 ③ 2 1
・運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4 ③ 2 1
・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4 ③ 2 1
・人事、給与に関する規程等は整備されているか	4 ③ 2 1
・教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4 ③ 2 1
・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4 ③ 2 1
・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4 ③ 2 1
・情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4 3 ② 1

①課題

- ・就業規則や給与に関する規程にわかりにくい部分がある。
- ・書類の電子化率は高いが共有率が低く効率が悪い。

②今後の改善方策

ファイルサーバーを導入するなどし、共用電子書類の保存場所を集約する。

③根拠資料

④特記事項

(3) 教育活動

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや適切…2、不適切…1
・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方法等が策定されているか	④ 3 2 1
・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえ、就業年限に対応した教育到達レベルが明確にされているか	④ 3 2 1
・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	④ 3 2 1
・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	④ 3 2 1
・関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4 ③ 2 1
・関連分野における実践的な職業教育（インターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	④ 3 2 1
・授業評価の実施・評価体制はあるか	④ 3 2 1
・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4 3 ② 1
・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	④ 3 2 1
・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	④ 3 2 1
・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	④ 3 2 1
・関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務を含む）を確保するなどマネージメントが行われているか	④ 3 2 1
・関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4 ③ 2 1
・職員の能力開発のための研修等が行われているか	4 ③ 2 1

①課題

カリキュラムは系統的に学習できる構成となっており、授業評価も実施しているが、その評価体制が確立されていない。

②今後の改善方策

さらに系統的に学習でき、学生の理解がより深められるようにカリキュラム構成を逐次見直すし、外部関係者からの評価体制を確立する。

③根拠資料

④特記事項

(4) 学修成果

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや適切…2、不適切…1
・就職率の向上が図られているか	4 ③ 2 1
・資格取得率の向上が図られているか	4 ③ 2 1
・退学率の低減が図られているか	4 ③ 2 1
・卒業生・在校生の社会的な活躍及び計画を把握しているか	4 ③ 2 1
・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4 ③ 2 1

①課題

国家試験合格率向上のために努力しているが、思うように成果が上がらない。また、卒業生の進路は卒業時調査以降の把握ができていないため学校教育活動に活かされていない。

②今後の改善方策

資格の意味や重要性を充分理解させ、学習意欲を向上させることによって国家試験合格率向上につなげる。また、同窓会と連携し卒業生の動向の把握を努めると共に同窓会などが開催する学術大会に在校生も積極的に参加させる。

③根拠資料

④特記事項

(5) 学生支援

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや適切…2、不適切…1
・進路・就職に関する支援体制は整備されているか	④ 3 2 1
・学生相談に関する体制は整備されているか	④ 3 2 1
・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4 ③ 2 1
・学生の健康管理を担う組織体制は整備されているか	④ 3 2 1
・課外活動に対する支援体制は整備されているか	4 ③ 2 1
・学生の生活環境への支援は行われているか	4 ③ 2 1
・保護者と適切に連携しているか	④ 3 2 1
・卒業生への支援体制はあるか	4 ③ 2 1
・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4 ③ 2 1
・高校・高等専修学校との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4 ③ 2 1

①課題

昨年より求人件数が増加したことにより、進路・就職については現状では大きな課題はない。

②今後の改善方策

女子学生が全体の3～4割程度を占めており、女子学生が相談しやすい女性教員を確保したい。

③根拠資料

④特記事項

(6) 教育環境

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや適切…2、不適切…1
・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか	4 ③ 2 1
・学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4 ③ 2 1
・防災に対する体制は整備されているか	④ 3 2 1

①課題

エックス線装置が古く実際の医療現場とのギャップが大きい。病院における臨床実習施設については充分確立しているが、海外研修やインターンシップなどは授業時間数との関係で行っていない。

②今後の改善方策

養成所指導ガイドラインの改正により、設備更新が必要となつたため現場とのギャップは少なくなっていく。海外研修やインターンシップ等についてはライセンスの関係上、実施が難しい。

③根拠資料

④特記事項

(7) 学生の受け入れ状況

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや適切…2、不適切…1
・学生募集活動は、適正に行われているか	④ 3 2 1
・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	④ 3 2 1
・学納金は妥当なものとなっているか	④ 3 2 1

①課題

オープンキャンパスなどで、国家試験合格率を伝えており、学生募集は概ね適切に行われていると考えているので、課題は特にない。

②今後の改善方策

オープンキャンパスなどにおいて、参加していただいた志願者、保護者に対し、より正確にかつ分かりやすく授業内容、資格に関する事項、業務内容等を説明する努力が必要である。

③根拠資料

学校パンフレット・募集要項

④特記事項

(8) 財務

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや適切…2、不適切…1
・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4 3 2 1
・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4 3 2 1
・財務について会計監査が適正に行われているか	4 3 2 1
・財務情報公開の体制整備はできているか	4 3 2 1

①課題

②今後の改善方策

③根拠資料

④特記事項

(9) 法令等の遵守

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや適切…2、不適切…1
・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	④ 3 2 1
・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	④ 3 2 1
・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4 ③ 2 1
・自己評価結果を公開しているか	4 ③ 2 1

①課題

授業評価は全学生に行っているが、自己点検・自己評価まで充分に及んでいない。

②今後の改善方策

学生の客観的評価を参考にし、自己評価を行い問題点を改善していくと共に成果を公表していく。

③根拠資料

④特記事項

(10) 社会貢献・地域貢献

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや適切…2、不適切…1
・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4 3 ② 1
・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4 3 2 ①
・地域に対する公開講座・教育訓練の受託等を積極的に実施しているか	4 3 2 ①

①課題

全科目が必須のため、月曜日から土曜日まで授業があり、施設を活用した社会・地域貢献やボランティア活動の時間や日程が限定されてしまう。

②今後の改善方策

③根拠資料

④特記事項

2021年度 学校法人 行岡保健衛生学園 学校関係者評価

実施日 ①2022年6月8日（水曜日）15時00分～16時30分

②2022年6月2日（木曜日）12時30分～13時30分

場所 大阪行岡医療専門学校長柄校 4階 放射線科教務室

学校名： 大阪行岡医療専門学校長柄校

学科名： 放射線科

評価者： ①（卒業生）（臨床実習施設）

②（医療機関）（卒業生）（非常勤講師）

【 講評】

○評価実施時点では装置が古いままであるが、カリキュラム改正により装置の更新及び新規購入が計画されているようなので、次年度以降に期待する。

○新型コロナウイルスの影響により社会貢献・地域貢献が実施されていないようであるので、コロナが納まった際にはしっかりと実施して欲しい。

【課題・今後の対策】

○エックス線装置などカリキュラム改正で更新が必要になったのが、高額であるので、一度にすべてを更新するのは難しく、計画を立てて更新していく。

○概ね、「適切」又は「ほぼ適切」の評価であるが、「やや適切」・「不適切」の評価が若干あるので、それらについて改善する。

令和4年5月26日

関係者評価・自己評価について（鍼灸科）

1. 日 時： 令和4年5月26日（木） 16時40分
 2. 場 所： 大阪行岡医療専門学校長柄校 鍼灸科 教務室
 3. 出席者： 森田恭弘 河合稔弘 名倉正典 齊藤芳枝 森 幸代 石割 讓 高木慶子
 4. 検討内容：
福田英夫先生による学校関係者評価 6月8日（水）実施
丹波徹二先生による学校関係者評価 6月9日（木）実施
名倉正典教員による自己点検評価 6月 実施
- 以上3つの評価について検討した。

- ・授業などでも、法令遵守、人権遵守などはおこなわなければならない。
- ・コロナ禍において、収入や健康の不安から退学にいたらないように学生ケアをする。
- ・ボランティア活動には積極的に参加していく。
- ・保護者と連携し、学生のニーズにも応じたカリキュラム整備をおこなう。
- ・卒業後の卒業生の行動を把握する体制をつくる。

5. 資 料： 2021年度 学校関係者評価（行岡保健衛生学園教学）2021 福田
2021年度 学校関係者評価（行岡保健衛生学園教学）2021 丹波
2021年度 自己点検評価表（行岡保健衛生学園 2021）鍼灸科

記録者 森田恭弘
以 上

令和4年6月8日

関係者評価 議事内容（福田英夫先生）

1. 日 時：

令和4年6月8日（水） 15時 から 1時間

2. 場 所：

大阪行岡医療専門学校長柄校 鍼灸科 教務室

3. 出席者：

福田英夫先生 森田恭弘 名倉正典

4. 議事内容：

福田英夫先生が学校関係者評価の質問項目に回答し、

学校に関する質問があれば、都度、森田、名倉が説明をおこなった。

質問、回答内容は添付資料に記載。

5. 資 料：2021年度 学校関係者評価（行岡保健衛生学園教学）2021 福田

記録者 森田恭弘

以 上

2021 年度 学校法人行岡保健衛生学園
学校関係者評価 評価表

学校名：大阪行岡医療専門学校長柄校

学科名：鍼灸科

評価者：福田 英夫 先生

評価項目の達成及び取組状況

(1) 教育理念・目標

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや適切…2、不適切…1
・学校の理念・目的・人材育成像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	④ 3 2 1
・学校における職業教育の特色は何か	④ 3 2 1
・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	④ 3 2 1
・学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	4 ③ 2 1
・各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4 ③ 2 1

(特記事項)

(2) 学校運営

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや適切…2、不適切…1
・目的等に沿った運営方針が策定されているか	④ 3 2 1
・運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4 ③ 2 1
・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4 ③ 2 1
・教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	④ 3 2 1
・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	④ 3 2 1
・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4 ③ 2 1
・情報システム化等による業務の効率化が図られているか	④ 3 2 1

(特記事項)

社会全体にコンプライアンスの必要性が話題となっていますが、授業などでは、法令遵守、人権遵守などはおこなわれているか

[回答]

十分配慮して実施している。不適切な行動および発言があれば、隨時、対処している。
関係法規などの講義も実施している。

(3) 教育活動

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや適切…2、不適切…1
・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方法等が策定されているか	4 ③ 2 1
・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえ、就業年限に対応した教育到達レベルが明確にされているか	④ 3 2 1
・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	④ 3 2 1
・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4 ③ 2 1
・関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4 ③ 2 1
・関連分野における実践的な職業教育（インターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	④ 3 2 1
・授業評価の実施・評価体制はあるか	④ 3 2 1
・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	④ 3 2 1
・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4 ③ 2 1
・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	④ 3 2 1
・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	④ 3 2 1
・関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務を含む）を確保するなどマネージメントが行われているか	4 ③ 2 1
・関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	④ 3 2 1
・職員の能力開発のための研修等が行われているか	4 ③ 2 1

(特記事項)

(4) 学修成果

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや適切…2、不適切…1
・就職率の向上が図られているか	④ 3 2 1
・資格取得率の向上が図られているか	④ 3 2 1
・退学率の低減が図られているか	4 ③ 2 1
・卒業生・在校生の社会的な活躍及び計画を把握しているか	④ 3 2 1
・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	④ 3 2 1

(特記事項)

コロナ等の影響を受けて、退学につながるような学生さんはおられますか。

[回答]

1名 現在の3年生が1年次に収入の不安を理由におられましたが、他には見られない。

(5) 学生支援

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや適切…2、不適切…1
・進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4 ③ 2 1
・学生相談に関する体制は整備されているか	④ 3 2 1
・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	④ 3 2 1
・学生の健康管理を担う組織体制は整備されているか	4 ③ 2 1
・課外活動に対する支援体制は整備されているか	4 ③ 2 1
・学生の生活環境への支援は行われているか	④ 3 2 1
・保護者と適切に連携しているか	④ 3 2 1
・卒業生への支援体制はあるか	④ 3 2 1
・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4 ③ 2 1
・高校・高等専修学校との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	④ 3 2 1

(特記事項)

(6) 教育環境

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや適切…2、不適切…1
・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか	④ 3 2 1
・学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	④ 3 2 1
・防災に対する体制は整備されているか	④ 3 2 1

(特記事項)

(7) 学生の受け入れ状況

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや適切…2、不適切…1
・学生募集活動は、適正に行われているか	④ 3 2 1
・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	④ 3 2 1
・学納金は妥当なものとなっているか	④ 3 2 1

(特記事項)

生徒募集に関して、教育業者などからノウハウの助言や新たな募集方法は検討している
か。

[回答]

リクルート社、ケーホウ社などの協力関係があります。

(8) 法令等の遵守

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや適切…2、不適切…1
・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	④ 3 2 1
・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4 ③ 2 1
・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	④ 3 2 1
・自己評価結果を公開しているか	④ 3 2 1

(特記事項)

令和4年6月9日

関係者評価 議事内容（丹波徹二先生）

1. 日 時：

令和4年6月9日（木） 16時から1時間

2. 場 所：

大阪行岡医療専門学校長柄校 鍼灸科 教務室

3. 出席者：

丹波徹二先生 森田恭弘 名倉正典

4. 議事内容：

丹波徹二先生が学校関係者評価の質問項目に回答し、

学校に関する質問があれば、都度、森田、名倉が説明をおこなった。

質問、回答内容は添付資料に記載。

5. 資 料：2021年度 学校関係者評価（行岡保健衛生学園教学）2021 丹波

記録者 森田恭弘
以 上

2021 年度 学校法人行岡保健衛生学園
学校関係者評価 評価表

学校名：大阪行岡医療専門学校長柄校

学科名：鍼灸科

評価者： 丹波 徹二 先生

評価項目の達成及び取組状況

(1) 教育理念・目標

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや適切…2、不適切…1
・学校の理念・目的・人材育成像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	④ 3 2 1
・学校における職業教育の特色は何か	④ 3 2 1
・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4 ③ 2 1
・学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	4 ③ 2 1
・各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4 ③ 2 1

(特記事項)

卒業時、就職の相談で訪問マッサージなどの開業ノウハウなどの説明が必要では。

[回答]

概略などは説明しているが、詳細な説明はする必要がある。

保護者会での説明があるのですか。

[回答]

コロナ禍で保護者の入学式参加がないので、保護者への説明は必要。

(2) 学校運営

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや適切…2、不適切…1
・目的等に沿った運営方針が策定されているか	④ 3 2 1
・運営方針に沿った事業計画が策定されているか	④ 3 2 1
・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	④ 3 2 1
・教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	④ 3 2 1
・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	④ 3 2 1
・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	④ 3 2 1
・情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4 ③ 2 1

(特記事項)

(3) 教育活動

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや適切…2、不適切…1
・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方法等が策定されているか	④ 3 2 1
・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえ、就業年限に対応した教育到達レベルが明確にされているか	4 ③ 2 1
・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	④ 3 2 1
・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	④ 3 2 1
・関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4 ③ 2 1
・関連分野における実践的な職業教育（インターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	④ 3 2 1
・授業評価の実施・評価体制はあるか	④ 3 2 1
・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	④ 3 2 1
・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	④ 3 2 1
・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	④ 3 2 1
・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	④ 3 2 1
・関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務を含む）を確保するなどマネージメントが行われているか	4 ③ 2 1
・関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	④ 3 2 1
・職員の能力開発のための研修等が行われているか	④ 3 2 1

(特記事項)

関連業者との連携はあるのですか。

[回答]

関連企業との連携では セイリン社 セネファ社がはり製造、もぐさ製造の講義を実施している。

(4) 学修成果

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや適切…2、不適切…1
・就職率の向上が図られているか	④ 3 2 1
・資格取得率の向上が図られているか	④ 3 2 1
・退学率の低減が図られているか	④ 3 2 1
・卒業生・在校生の社会的な活躍及び計画を把握しているか	4 ③ 2 1
・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4 ③ 2 1

(特記事項)

退学率の低減を図る方策はされているか。

[回答]

退学者を減らす方法として、各学年で面談を実施して、未然に防ぐようにしている。

(5) 学生支援

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや適切…2、不適切…1
・進路・就職に関する支援体制は整備されているか	④ 3 2 1
・学生相談に関する体制は整備されているか	④ 3 2 1
・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4 ③ 2 1
・学生の健康管理を担う組織体制は整備されているか	④ 3 2 1
・課外活動に対する支援体制は整備されているか	④ 3 2 1
・学生の生活環境への支援は行われているか	4 ③ 2 1
・保護者と適切に連携しているか	4 ③ 2 1
・卒業生への支援体制はあるか	4 ③ 2 1
・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4 3 ② 1
・高校・高等専修学校との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4 ③ 2 1

(特記事項)

保護者との連携はあるのか。

[回答]

保護者会の実施をする予定

社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか。

[回答]

社会との関わりを持つことによって、ニーズを知るようにする。

入学生のアンケートなどで確認する。

(6) 教育環境

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや適切…2、不適切…1
・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか	④ 3 2 1
・学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	④ 3 2 1
・防災に対する体制は整備されているか	4 ③ 2 1

(特記事項)

学内外の実習施設は整備されているか。

[回答]

外部の施術所への実習を実施している。学内では1週間に1回 合計90時間の実習を実施している。

防災体制はあるのか。

[回答]

火災の避難訓練は実施している。

(7) 学生の受け入れ状況

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや適切…2、不適切…1
・学生募集活動は、適正に行われているか	④ 3 2 1
・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	④ 3 2 1
・学納金は妥当なものとなっているか	④ 3 2 1

(特記事項)

(8) 法令等の遵守

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや適切…2、不適切…1
・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	④ 3 2 1
・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	④ 3 2 1
・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4 ③ 2 1
・自己評価結果を公開しているか	④ 3 2 1

(特記事項)

(9) 社会貢献・地域貢献

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや適切…2、不適切…1
・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4 ③ 2 1
・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	④ 3 2 1
・地域に対する公開講座・教育訓練の受託等を積極的に実施しているか	4 3 ② 1

(特記事項)

ボランティア活動には積極的に参加して欲しいとの要望があった。

令和4年6月2日

行岡保健衛生学園 自己評価表

学校名：大阪行岡医療専門学校長柄校

学科名：鍼灸科

記入者：名倉 正典

1. 学校の教育目標

本校は教育基本法、学校教育法に定める専修学校にして、医療専門課程を置き、放射線学、診療検査学、はり・きゅう・あん摩マッサージ指圧術、柔道整復に関する理論と実地技能を教え、兼ねてその品性を陶冶し、有為な診療放射線技師、臨床検査技師、はり師・きゅう師・あん摩マッサージ指圧師、柔道整復師を養成して、人類の福祉に寄与することを目的とする。

(学則より転記)

2. 学科の教育目標

現代医学および、鍼、灸、あん摩マッサージ指圧の理論と技術を身につけ、幅広く疾病及びその予防に対応できる能力を教授する。

3. 評価項目の達成及び取組状況

(1) 教育理念・目標

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや適切…2、不適切…1
・学校の理念・目的・人材育成像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	4 ③ 2 1
・学校における職業教育の特色は何か	4 ③ 2 1
・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4 ③ 2 1
・学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	4 3 ② 1
・各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4 ③ 2 1

①課題

- ・学生の平均年齢が高く、保護者への通知の必要性が定まっていないこと。
- ・学内での教育と学外実習との連携をより深めること。
- ・国家試験合格率をさらに高めること。

②今後の改善方策

- ・保護者への周知が必要とされる場面を検討し、連絡方法を見直すこと。
- ・実習後の学生や実習先からのフィードバックを行い、準備内容を検討すること。
- ・改定された国家試験の対策を検討し、通常授業での対策も含めて最適化すること。

③根拠資料

- ・国家試験合格率
はり師（全国 70.0% 本学 85.4%）
きゅう師（全国 72.2% 本学 85.4%）
あん摩マッサージ指圧師（全国 84.1% 本学 95.8%）

④特記事項

(2) 学校運営

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや適切…2、不適切…1
・目的等に沿った運営方針が策定されているか	4 ③ 2 1
・運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4 ③ 2 1
・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4 ③ 2 1
・人事、給与に関する規程等は整備されているか	4 3 2 1
・教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4 3 2 1
・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4 ③ 2 1
・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4 ③ 2 1
・情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4 3 ② 1

①課題

- ・近年、取り扱う学生個人の成績などの情報量が増えており、手作業で処理をしている。これはスタッフ各人のスキルに依存する割合が多いこと。

②今後の改善方策

- ・情報処理に関して、ある程度必要最小限の機能を残してテンプレート化を行い、より多くのスタッフが処理を行えるようにするとともに、個人情報の管理をより厳密に行う。

③根拠資料

④特記事項

(3) 教育活動

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや適切…2、不適切…1
・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方法等が策定されているか	4 ③ 2 1
・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえ、就業年限に対応した教育到達レベルが明確にされているか	4 ③ 2 1
・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4 ③ 2 1
・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4 ③ 2 1
・関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4 3 ② 1
・関連分野における実践的な職業教育（インターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	4 ③ 2 1
・授業評価の実施・評価体制はあるか	④ 3 2 1
・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4 ③ 2 1
・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	④ 3 2 1
・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	④ 3 2 1
・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4 ③ 2 1
・関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務を含む）を確保するなどマネージメントが行われているか	4 3 ② 1
・関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4 3 ② 1
・職員の能力開発のための研修等が行われているか	4 3 ② 1

①課題

- ・関連分野における業界との連絡を取る機会が限られていること。

②今後の改善方策

- ・各種関連分野における業界団体と連絡を取り合い、場合によっては講演などを依頼する。

③根拠資料

④特記事項

(4) 学修成果

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや適切…2、不適切…1
・就職率の向上が図られているか	4 ③ 2 1
・資格取得率の向上が図られているか	4 ③ 2 1
・退学率の低減が図られているか	4 ③ 2 1
・卒業生・在校生の社会的な活躍及び計画を把握しているか	4 ③ 2 1
・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4 3 ② 1

①課題

②今後の改善方策

③根拠資料

④特記事項

(5) 学生支援

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや適切…2、不適切…1
・進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4 ③ 2 1
・学生相談に関する体制は整備されているか	4 ③ 2 1
・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	④ 3 2 1
・学生の健康管理を担う組織体制は整備されているか	④ 3 2 1
・課外活動に対する支援体制は整備されているか	4 3 ② 1
・学生の生活環境への支援は行われているか	4 3 ② 1
・保護者と適切に連携しているか	4 3 ② 1
・卒業生への支援体制はあるか	4 3 ② 1
・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4 3 ② 1
・高校・高等専修学校との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4 3 ② 1

①課題

②今後の改善方策

③根拠資料

④特記事項

(6) 教育環境

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや適切…2、不適切…1
・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか	4 ③ 2 1
・学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4 ③ 2 1
・防災に対する体制は整備されているか	4 ③ 2 1

①課題

- ・一部の設備が古く、不具合を起こすことがあること。

②今後の改善方策

- ・設備の点検、修理・買い替えなどを必要に応じて行う。

③根拠資料

④特記事項

(7) 学生の受け入れ状況

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや適切…2、不適切…1
・学生募集活動は、適正に行われているか	④ 3 2 1
・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4 ③ 2 1
・学納金は妥当なものとなっているか	④ 3 2 1

①課題

②今後の改善方策

③根拠資料

④特記事項

(8) 財務

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや適切…2、不適切…1
・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4 3 2 1
・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4 3 2 1
・財務について会計監査が適正に行われているか	4 3 2 1
・財務情報公開の体制整備はできているか	4 3 2 1

①課題

②今後の改善方策

③根拠資料

④特記事項

(9) 法令等の遵守

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや適切…2、不適切…1
・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	④ 3 2 1
・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4 ③ 2 1
・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4 ③ 2 1
・自己評価結果を公開しているか	④ 3 2 1

①課題

②今後の改善方策

③根拠資料

④特記事項

(10) 社会貢献・地域貢献

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや適切…2、不適切…1
・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4 3 ② 1
・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4 ③ 2 1
・地域に対する公開講座・教育訓練の受託等を積極的に実施しているか	4 ③ 2 1

①課題

②今後の改善方策

③根拠資料

④特記事項